

外科的合併症を回避するポイント

堀内 克啓

中谷歯科医院



インプラント治療における外科的合併症を回避するポイントは、まず解剖、創傷治癒、bone biology 等の基本知識およびただし基本的外科術式の習得である。

審美性要求の高い補綴主導型インプラント治療を行うには、理想的なインプラントポジションを確保するために、自家骨移植、GBR、サイナスリフト、歯槽骨延長術等を駆使した予知性の高い歯槽骨造成が必須である。

本講演では、まず骨造成の基本的知識を、そしてインプラントトラブルに関連する外科術式の嘘と真について解説したい。手術は Science であり、例えば、減張切開は何処を基準に何度か角度で、どれぐらいの深さで、どれぐらいの長さで切開し、どのようになれば、完璧な術式だと説明できますか？ できなければ、必然的に失敗が起こりうるはずで。

略 歴

- ・中谷歯科医院 院長
- ・大阪大学歯学部 臨床教授
- ・南カリフォルニア大学歯学部 (USC) 客員教授
- ・長崎大学大学院 顎口腔再生外科学講座 非常勤講師
- ・岩手医科大学 歯学部補綴・インプラント学講座非常勤講師
- ・Advanced Implant Institute of Japan (AII) 主宰
- ・JACID (日本口腔インプラント学会指定研修施設) 施設長
- ・元 奈良県立医科大学 口腔外科学講座助教授

memo